

# 第1回メモリーサロン

## レビー小体型認知症とは

神戸百年記念病院 精神神経科  
認知症疾患医療センター  
精神保健福祉士 篠原 隆宏

# お話しをさせて頂く内容

1、レビー小体型認知症の特徴

2、症状について

3、どんな対応がよいだろうか？



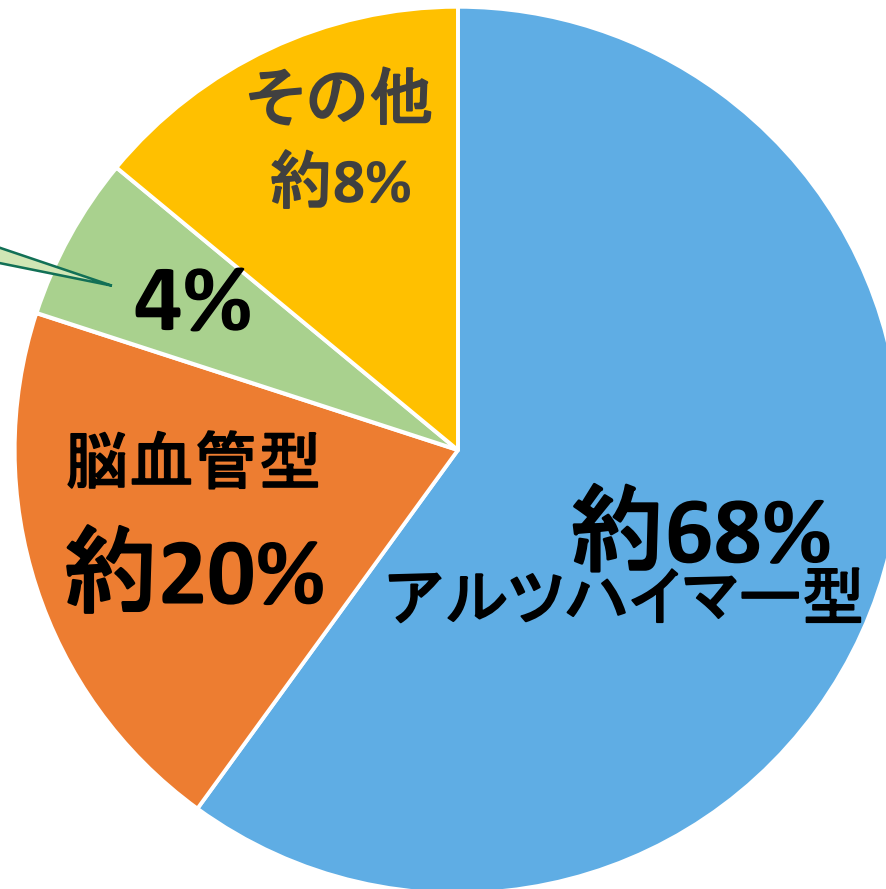
# 認知症疾患の割合

レビー小体型

脳血管性認知症より  
多いとされるデータもある

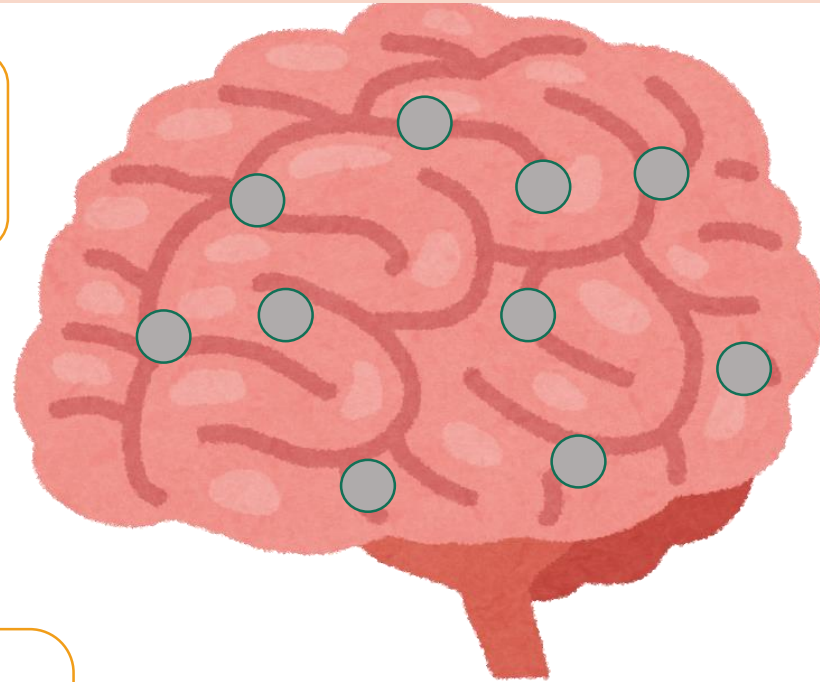
男性の方が多い

アルツハイマー型 等と混合で生じていることもある



# レビー小体型認知症の特徴

レビー小体というたんぱく質が  
脳の大脳皮質に広がり発症



徐々に進行する

初期は、もの忘れ  
が現れづらい

個人ごとに異なるが  
症状が  
ほとんど現れない日  
や時間がある。  
(日内変動)

# お話しをさせて頂く内容

1、レビー小体型認知症の特徴

2、症状について

3、どんな対応がよいだろう？



# 幻視

あそこに、遠くに  
住んでいる孫がいる！



小動物や虫が  
見えることも。



居るはずのない人や、  
あるはずのない物がはっきり見える。  
レビーでは、夜間に多い症状。

# 睡眠時行動障害

眠りの浅い時(レム睡眠)

大声



手や足が出る

歩き回る

夢を見ている時は筋肉が緩み身体が動きづらい。  
しかしレビーの場合、筋肉が緩まずに夢と連動し、  
夢内の行動が現れる。

# パーキンソン病のような症状

姿勢反射障害や  
前かがみ歩行



自然と行われているはずの姿勢保持や、  
体をスムーズに動かすということが困難になり  
転倒してしまいやすい。

振戦

パーキンソン病より出現頻度は少ない傾向



手の指や腕が、  
短い周期間隔で  
勝手に動く。

筋固縮

筋肉が固縮して  
身体や表情が固くなる。

# お話しをさせて頂く内容

1、レビー小体型認知症の特徴

2、症状について

3、どんな対応がよいだろう？







# どんな対応がよいだろう

状態

対応

「テレビ前に  
知らない子供が  
座ってる。」と話す



幻視には他にもある。

変な虫がみえる。  
うさぎやネコがいる。

例：本人にははっきり見えている。  
「座っているんですね。」と話を合わせる等。

例：その虫や動物を  
追い払う動作をする。

例：なにが怖いか聞いて  
気持ちに寄り添う。

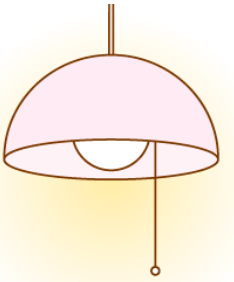


# どんな対応がよいだろう



状態

対応



寝ていると突然、  
手足が激しく動き、  
その行為が長引く。

例：部屋の明かりをつける。  
(自然に目を覚ましてもらうように対応)  
転倒でケガをしづらいように、ベッド  
であれば低い物を活用したり柵あり  
を使用など。

前かがみでの  
歩行状態があり、  
転倒が多い。

例：杖を活用することは有効。  
そして、  
例：歩行のリハビリテーションを  
行う。



# レビー小体型認知症 まとめ

- ・レビー小体たんぱく質が、脳の大脳皮質（大脳の表面に位置する神経組織）に広がり発症。
- ・初期はもの忘れ症状が見受けられづらい。
- ・認知機能の変動、そして幻視や睡眠時行動障害、パーキンソン病のような症状などが特徴。
- ・症状について、工夫を凝らした対応や対策も活用し、生活課題の改善へ繋げる。

# 身近な人の様子を相談したい

○自宅地域の地域包括支援センター  
(神戸市内の名称は、あんしんすこやかセンター)

○かかりつけ医療機関の担当医師

○認知症疾患医療センター

(神戸市内では7か所の医療機関に設置)